

【小学校2年国語科】毎日、可能であれば、読書に取り組みましょう。

	曜日例	課題内容
1	月	<p>【ページ】扉～p.12 「たんぼぼ」「つづけてみよう」</p> <p>【学習のしかた】①「たんぼぼ」を3回音読する。 ② 「たんぼぼ」をノートに視写し、思ったことをノートに書く。さらに、様子を思いうかべて絵に表すとよい。 ③ p.14を読んで、「ころにのこったこと」をひとことで書く。</p> <p>【気をつけること】① 音読ははっきりと丁度よい声の大ききで読む。② 視写は丁寧に文字を書く。</p>
2	火	<p>【ページ】扉～p.12 「たんぼぼ」「つづけてみよう」</p> <p>【学習のしかた】①「たんぼぼ」を3回音読する。 ② p.140「ひらがなとカタカナ」をたてに読んだり、よこに読んだりする。身の回りからカタカナの言葉を見付け、ノートにできるだけたくさん書く。 ③ p.14を読んで、「ころにのこったこと」をひとことで書く。</p> <p>【気をつけること】① ひらがななどは、はっきりと読む。② 一言で書き、二言目を加えてもよい。</p>
3	水	<p>【ページ】扉～p.12 p.150「たんぼぼ」「つづけてみよう」「ふきのとう」</p> <p>【学習のしかた】①「たんぼぼ」「ふきのとう」を3回ずつ音読する。 ② p.27「ふきのとう」の漢字を3回ずつ書く。(例)読む、雪、言うなど ③ 「ころにのこったこと」をひとことで書く。</p> <p>【気をつけること】① 漢字は正しい書き順で書くようにする。② 読みがなも書き、丁寧に文字を書く。</p>
4	木	<p>【ページ】扉～p.12 p.150「たんぼぼ」「つづけてみよう」「ふきのとう」</p> <p>【学習のしかた】①「たんぼぼ」「ふきのとう」を3回ずつ音読する。 ② p.27「ふきのとう」の漢字を3回ずつ書く。(例)読む、雪、言うなど ③ 「ころにのこったこと」をひとことで書く。</p> <p>【気をつけること】① 漢字は正しい書き順で書くようにする。② 読みがなも書き、丁寧に文字を書く。</p>
5	金	<p>【ページ】p.13～27、「ふきのとう」</p> <p>【学習のしかた】① p.13～「ふきのとう」を音読して、思ったことを書く。 ② p.27「ふきのとう」の漢字を3回ずつ書く。(例)読む、雪、言うなど ③ 「ころにのこったこと」をひとことで書く。思ったことも書くとよい。</p> <p>【気をつけること】① 漢字は書き順に気をつける。② P153「言葉の宝箱」を活用するとよい。</p>
6	月	<p>【ページ】p.13～27、「ふきのとう」</p> <p>【学習のしかた】① p.13～「ふきのとう」を3回音読する。登場人物をノートに書く。(p.24「とらえよう」p.26「おはなしをたしかめる」を参考にする。) ② p.27「ふきのとう」の漢字を3回ずつ書く。(例)読む、雪、言うなど ③ 「ころにのこったこと」をひとことで書く。思ったことも書くとよい。</p> <p>【気をつけること】① 漢字は書き順に気をつける。② P154「言葉の宝箱」を活用するとよい。</p>
7	火	<p>【ページ】p.13～27、「ふきのとう」</p> <p>【学習のしかた】① p.13～「ふきのとう」を3回音読する。登場人物がしたことをノートに書く。(p.24「とらえよう」p.26「おはなしをたしかめる」を参考にする。) ② p.27「ふきのとう」の漢字を3回ずつ書く。(例)読む、雪、言うなど ③ 「ころにのこったこと」をひとことで書く。思ったことも書くとよい。</p> <p>【気をつけること】① 漢字は書き順に気をつける。② P155「言葉の宝箱」を活用するとよい。</p>
8	祝	<p>【ページ】p.13～27、「ふきのとう」</p> <p>【学習のしかた】① p.24「ふかめよう」p.25「まとめよう」p.25下段「音読で気をつけること」を読んで、登場人物の言ったことの読み方を考えて、3回音読をする。 ② p.27「ふきのとう」の漢字をテスト形式で書く。読みがなを先に書くなど。 ③ 「ころにのこったこと」をひとことで書く。思ったことも書くとよい。</p> <p>【気をつけること】① 漢字は書き順に気をつける。② P156「言葉の宝箱」を活用するとよい。</p>
9	木	<p>【ページ】p.28～31、「図書館たんけん」「春がいっぱい」</p> <p>【学習のしかた】① p.28「図書館たんけん」「春がいっぱい」を3回音読する。 ② p.30、31「はながさいた」を視写する。「かたばみ」など春の生き物の言葉を書き写す。絵も一緒に書くと、イメージをつなげることができる。 ③ 「ころにのこったこと」をひとことで書く。思ったことも書くとよい。</p> <p>【気をつけること】① 漢字は書き順に気をつける。② P157「言葉の宝箱」を活用するとよい。</p>

10	金	<p>【ページ】 p. 28～31 「図書館たんけん」 「春がいっぱい」 など</p> <p>【学習のしかた】 ① 「図書館たんけん」 「春がいっぱい」 を2回音読する。</p> <p>② p. 29 「図書館たんけん」 p. 31 「春がいっぱい」 の漢字を5回ずつ書く。</p> <p>③ これまでの「こころにのこったこと」を読み直し、思ったことを書く。</p> <p>【気をつけること】 ① 漢字は正しい書き順で書く。② 「言葉の宝箱」の活用を確認する。</p>
----	---	--

